*２月 14 日は、パレンバン・デー！*

## 【出版記念 特別講演会のご案内】

＜ なぜ大東亜戦争は起きたのか？ ＞

# 「空の神兵と呼ばれた男たち」

日時： 平成 29 年 2 月 14 日（火） 17：30～ （17 時開場）

場所： 憲政記念館 （ 東京都千代田区永田町１－１－１ ☎ 03－3581－1651 ）

講演：奥本康大（こうだい）（元 出光興産） 「空の神兵だった父を語る」

講話：・加瀬英明 （外交評論家） 「日本が人種平等の世界をつくった」

・頭山興助 （呉竹会会長） 「園田 直（すなお）隊長と空挺部隊」

・杉田水脈 （前衆議院議員）「誇りある日本を取り戻そう」

会費： 当日受付 2,000 円/人、事前申込及び前売券は 1,500 円/人

参加者には、全員に書籍を贈呈させて頂きます。

申込先： 電話 080-5543-0111 Fax 042-725-7718 Email : houtoku_kai@yahoo.co.jp

主 催 ： 二宮報徳会 会長： 藤田ひとみ

後 援 ： 日本会議東京都本部、呉竹会、日本文化チャンネル桜、史実を世界に発信する会、新しい歴史教科書をつくる会、正論の会、日本世論の会、一般社団法人・美し国、さくら倶楽部、東京教育研究会、株式会社ハート出版、他

◎ 好評発売中 アマゾン１位（日中・太平洋戦争部門）獲得！

---

ハート出版 1,944 円（税込）高山正之、奥本實共著

序文は「戦争犯罪国はアメリカだった！」の著者、元ニューヨークタイムズ東京支局長ヘンリー・ストークス氏。

「本書は反骨のジャーナリスト高山正之氏の論考、パラシュート降下作戦を敢行した故奥本實中尉（当時）の手記と、その子息・康大氏の追想の三部からなっている。副題は「なぜ大東亜戦争は起きたのか？」。単に「空の神兵」を美化するものではなく、日本を含むアジアの当時の情勢と現実をリアルに語り、日本が開戦せざるを得なかった理由と、あの戦争の意義をあらためて現代に問いかける書だ。」

（ＷｉＬＬ２月号 『編集部の今月この一冊』より抜粋）